

## 第4回 士別市立病院のあり方検討市民委員会

# 士別市立病院の将来のあり方に関する検討資料

2025年8月7日



# **1. 前回委員会の内容整理**

## **(1) 前回委員会の内容整理**

# **2. 具体的な診療機能について**

## **(1) 入院機能について**

## **(2) 外来機能について**

## **(3) 救急機能について**

## **(4) 感染症対応機能について**



# 1. 前回委員会の内容整理

## (1) 前回委員会の内容整理

## 2. 具体的な診療機能について

(1) 入院機能について

(2) 外来機能について

(3) 救急機能について

(4) 感染症対応機能について

# 1. (1) 前回委員会の内容整理

## <前回会議の振り返り>

### 3. あり方検討の協議テーマ説明

<士別市立病院の将来のあり方について、今後主にご意見いただきたい内容>

(1)  
病院の  
将来の  
あり方

- ①病院の存続
  - ・ 将来にわたって、士別市立病院の**存続**が必要か
- ②将来の病院像
  - ・ 求められる将来の病院像はどのような内容か  
(入院や外来機能、救急、感染症対応など)

第3回で  
方針確定

委員の皆様のご意見を  
確認しました

(2)  
具体的な  
診療機能

(例)

- 求められる将来の病院象を踏まえ、具体的な診療機能等について協議
- ・ 今後も士別市において、**幅広い入院機能**を備える病院が必要となるか
  - ・ 今後も現在の**外来機能（診療科目）**が必要となるか
  - ・ 幅広い領域をカバーする、**総合診療科**は必要か
  - ・ 今後も士別市内で、**一次～二次救急の受入**を担う医療機関が必要か
  - ・ 今後も士別市内で、**感染症対策機能**を担う医療機関が必要か

第4回～  
6回で  
方針確定

# 1. (1) 前回委員会の内容整理

## <前回会議の振り返り>

### 1. (1) 病院の将来のあり方 ①病院の存続の必要性の確認

【協議事項】将来にわたって、土別市立病院の存続が必要か

- 現在、土別市立病院は**公立病院として、入院、外来、救急受入など多くの役割**を果たしている
- アンケートによると、市民の受診理由や今後必要な医療機能も、この役割に近い内容となっている

#### <当院の現状担っている役割・期待される役割>

##### 当院が地域で果たす役割

**入院機能**  
(土別市内で唯一)

**外来機能**  
(14診療科標榜)

**救急受入機能**  
(24時間・365日)

**感染症対策機能**  
(病床確保、発熱外来など)

など

##### 公立病院の果たす役割

地域における**基幹的な公的医療機関**  
(地域医療確保のための重要な役割)

**感染症**発生時に重要な役割を果たす  
(病床確保と入院受入、発熱外来など)

など

【出典】総務省「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」

##### 市民アンケート上のご意見

###### 【当院を受診する理由】

- 土別市民にとって**身近**な施設だから
- 土別市の運営する**公立病院**だから
- **24時間・365日**対応してくれるから

###### 【今後の土別市に必要な医療機能】

- 市内で**入院**可能な医療機関
- **24時間・365日**の救急対応継続
- **外来機能** (かかりつけ医) の充実

など

**「今後も土別市立病院を存続する」方針を全会一致で決定しました**

# 1. (1) 前回委員会の内容整理

## <前回会議の振り返り>

### 1. (1) 病院の将来のあり方 ② 将来の病院像について <理念・基本方針>

【協議事項】求められる将来の病院像はどのような内容か

<現在の当院の理念及び基本方針>

#### 理念

患者さん中心の医療を行い、地域から信頼される病院づくりを進めます。

#### 基本方針

- 患者さんの意思を尊重し、尊厳を守る医療の提供に努めます。
- 地域の連携を深め、地域完結型の「治し支える医療」の推進に努めます。
- 医療人として自ら研鑽に励み、地域の医療水準の向上に努めます。
- 公共性を確保し、効果的で健全な病院経営に努めます。

### 1. (1) 病院の将来のあり方 ② 将来の病院像について <コンセプト>

【協議事項】求められる将来の病院像はどのような内容か

- 現在の役割・機能や市民アンケートの結果をもとに、求められる将来の病院像（コンセプト）について、委員の皆さんから市民目線での意見をいただく。

いただいた  
ご意見を  
次頁で  
整理します

# 1. (1) 前回委員会の内容整理

## <士別市立病院の将来像について、委員の皆様にご意見いただいた内容>

### 安心して 受診できる病院

- 診療や検査など、スピード感がある対応をしてくれて、**安心できる病院、頼れる病院**であってほしい。
- 士別市内で治療を受けられる病院であってほしい。

### 診療機能の 維持

- **入院機能**を維持してほしい。
- 夜間や休日の**救急受入機能**を維持してほしい。

### 新たな 診療機能の 充実

- 幅広い症例に対応できる体制を整備してほしい。
- 子育て世代向けに、**小児医療**の機能を充実してほしい。
- **産婦人科**を設置してほしい。

### コンパクト化の 検討

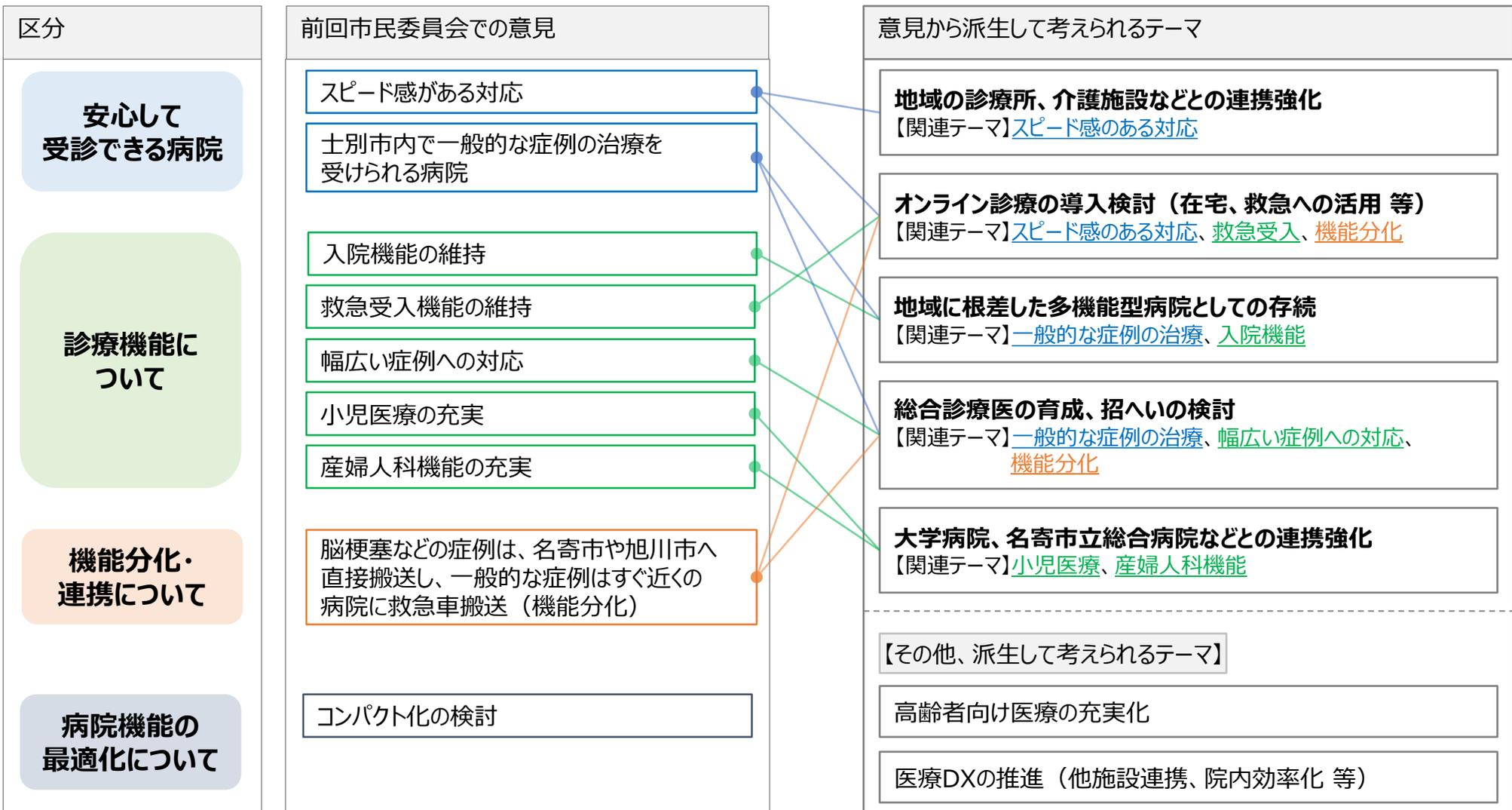
- 人口減少や市の財政状況をふまえて、**コンパクトな病院**を目指してもいいと思う。

### その他の ご意見

- **専門医が不在**という理由で旭川市や名寄市など、他市町村の病院に紹介されたことがショックだった。
- 脳梗塞など頭部関係は名寄、旭川の医療機関に搬送されることとなるが、**一般的な症例はすぐ近くの病院に救急車で運んでほしい。**
- スタッフの対応が病院の評判に繋がると思うので、改善して行ってほしい。
- 医師や看護師の不足を補うために手を打つ必要があると思う。
- **経営を意識し、資金面でも安定**している病院を目指す必要があると思う。

# 1. (1) 前回委員会の内容整理

## <前回委員会での将来像に関する意見の整理>



# 1.【参考】士別市立病院の公立病院としての役割

- 士別市立病院は公立病院として、救急医療、感染症医療のほか多くの事業に対応しています。

## 上川北部医療圏の病院の5疾病6事業への対応状況

| 市町村   | No. | 医療機関名称               | 5疾病          |     |          |               |              | 6事業          |            |             |           |             |                | 在宅医療         |
|-------|-----|----------------------|--------------|-----|----------|---------------|--------------|--------------|------------|-------------|-----------|-------------|----------------|--------------|
|       |     |                      | がん           | 脳卒中 | 心筋<br>梗塞 | 糖尿病           | 精神<br>疾患     | 救急<br>医療     | 災害<br>医療   | へき地<br>医療   | 周産期<br>医療 | 小児医療<br>医療  | 感染症<br>医療      |              |
| 士別市   | 1   | 士別市立病院               | 化学療法         | 回復期 |          | 対応可<br>(合併症含) | 精神科<br>医療提供  | 二次救急<br>輪番参加 |            |             |           | 小児科<br>標榜   | 病床確保<br>医療措置協定 |              |
| 名寄市   | 2   | 名寄市立総合病院             | 診療連携<br>指定病院 | 急性期 | 急性期      | 対応可<br>(合併症含) | 精神病床<br>認知症C | 救命救急         | 災害拠点<br>病院 | へき地<br>拠点病院 | 周産期<br>母子 | 小児救急・<br>入院 | 第二種            |              |
|       | 3   | 医療法人臨生会<br>吉田病院      |              | 回復期 |          |               |              | 二次救急         |            |             |           |             | 病床確保<br>医療措置協定 | 在宅療養<br>支援病院 |
|       | 4   | 医療法人社団三愛会<br>名寄三愛病院  |              | 回復期 |          | 対応可           |              |              |            |             |           |             |                |              |
|       | 5   | 名寄東病院                |              |     |          | 対応可<br>(合併症含) |              |              |            |             |           |             |                |              |
| 美深町   | 6   | J A 北海道厚生連<br>美深厚生病院 |              | 回復期 |          |               |              | 二次救急         |            |             |           |             | 病床確保<br>医療措置協定 |              |
| 下川町   | 7   | 町立下川病院               |              |     |          | 対応可<br>(合併症含) |              | 二次救急         |            |             |           | 小児科<br>標榜   | 病床確保<br>医療措置協定 |              |
| 音威子府村 | 8   | 音威子府村立診療所            |              |     |          | 対応可<br>(合併症含) |              | 二次救急         |            |             |           |             |                |              |
| 中川町   | 9   | 中川町立診療所              |              |     |          | 対応可<br>(合併症含) |              | 二次救急         |            |             |           |             |                |              |

- 5疾病：以下の観点から定められる、特に広範かつ継続的な医療の提供が必要と認められる5つの疾病のこと（医療法第30条の4第2項第4号）
  - 患者数が多く国民に広く関わるもの
  - 死亡者数が多いなど政策的に重点が置かれるもの
  - 症状の経過に基づくきめ細やかな対応が必要なもの
  - 医療機関の機能に応じた対応や連携が必要なもの
- 6事業：以下の観点から定められる、医療の確保に必要な6つの事業のこと（医療法第30条の4第2項第5号）
  - 医療を取り巻く情勢から政策的に推進すべき医療
  - 医療体制の構築が、患者や住民を安心して医療を受けられるようになるもの

救急医療や小児医療などは  
採算性の確保が難しく  
「不採算医療」とも呼ばれている

## 1. 前回委員会の内容整理

### (1) 前回委員会の内容整理

## 2. 具体的な診療機能について

### (1) 入院機能について

### (2) 外来機能について

### (3) 救急機能について

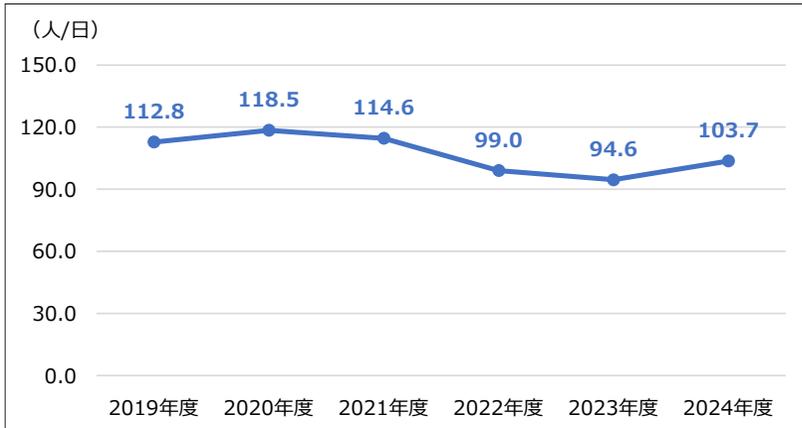
### (4) 感染症対応機能について

## 2. (1) 入院機能について (現状整理)

**【協議事項】** 今後も土別市において、幅広い入院機能を備える病院が必要となるか

- 当院の1日当たり入院患者数は、**103.7人/日**です。(2024年度実績)
- 半径15km圏内に他の病院がなく、**入院機能の中心的な役割**を担っています。

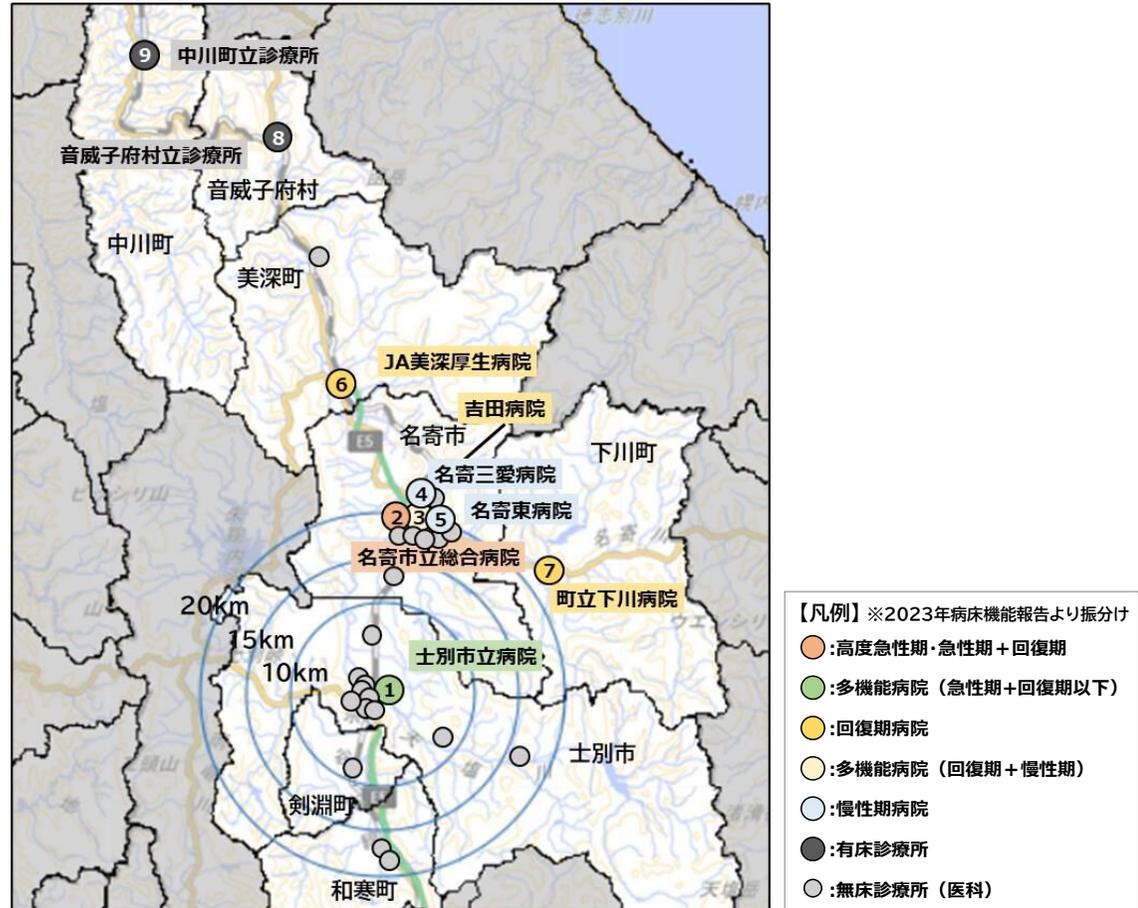
当院の入院患者数推移



土別市の入院需要予測 (将来人口推計×受療率)



上川北部医療圏の医療機関分布図



## 2. (1) 入院機能について（課題・方向性整理）

【協議事項】今後も土別市において、幅広い入院機能を備える病院が必要となるか

- 市民アンケートでは、今後土別市に必要な機能として、「**市内に入院可能な医療機関があること**」が最も多い意見となっています。（61.8%、388件）
- 当院は、急性期・回復期・慢性期と、**緊急入院から在宅復帰支援、長期療養まで**幅広く対応しています。

### 病床機能の考え方と当院が現在担っている機能

| 病床機能  | 各病床機能で主に対応する患者  | 当院が現在担っている機能 |
|-------|---|--------------|
| 高度急性期 | 病態が特に不安定であり、 <b>急性期よりも密度の高い医療</b> の提供が必要な患者           | (なし)         |
| 急性期   | 病気や怪我になり始め、病態が不安定であり、 <b>密度の高い医療</b> の提供が必要な患者        | <b>50床</b>   |
| 回復期   | 容体が急性期を脱し、リハビリテーションを中心として、 <b>身体機能の回復</b> を図ることが必要な患者 | <b>39床</b>   |
| 慢性期   | 容体は安定しているが、病気が緩やかに進行しており、 <b>長期療養</b> を必要とする患者        | <b>40床</b>   |



### 病院と診療所の定義

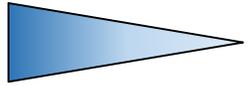
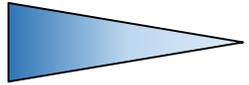
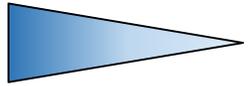
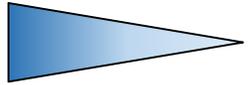
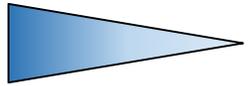
| 区分    | 病床数    |
|-------|--------|
| 病院    | 20床以上  |
| 有床診療所 | 1床～19床 |
| 無床診療所 | 病床なし   |

## 2. (1) 入院機能について（病床規模の考え方）

【協議事項】今後も土別市において、幅広い入院機能を備える病院が必要となるか

- 病床規模の考え方については、**地域医療機関の状況**や、**将来的な医療需要**、**職員確保の可能性**、**収益性**などの観点をふまえ、検討する必要があります。
- 多くの病床を整備すると、受入可能な患者数が増加し、収益の向上につながる一方で、職員確保や設備整備の負担という課題があります。
- 病床数を少なくすると、職員確保や設備投資の負担が軽減される一方で、受入可能な患者数の減少や収益の減少という課題があり、投資額を収益で賄えなくなる可能性があります。

### 病床規模の考え方

|          |    |   |     |
|----------|----|---|-----|
| 病床数      | 多い |    | 少ない |
| 必要職員数    | 多い |    | 少ない |
| 設備投資     | 高額 |   | 少額  |
| 受入可能な患者数 | 多い |  | 少ない |
| 入院収益     | 多い |  | 少ない |

人口減少・高齢化をふまえた、  
職員確保の難しさ

高額な設備投資による、  
病院や市の財政負担の増大

緊急の患者受入にも  
対応できる体制の継続

入院収益の減少による  
病院財政の悪化（健全経営の困難）



- 地域の医療機関の状況
- 将来的な医療需要 など

## 2. (2) 外来機能について (現状整理)

【協議事項】①今後も現在の外来機能 (診療科目) が必要となるか

- 当院の1日当たり外来患者数は、**359.5人/日**です。(2024年度実績)
- 市内には内科や外科などが多い状況ですが、**当院のみが担っている診療科** (消化器内科・婦人科等) も多くあります。一方で、産婦人科を標ぼうしている医療機関は市内にありません。

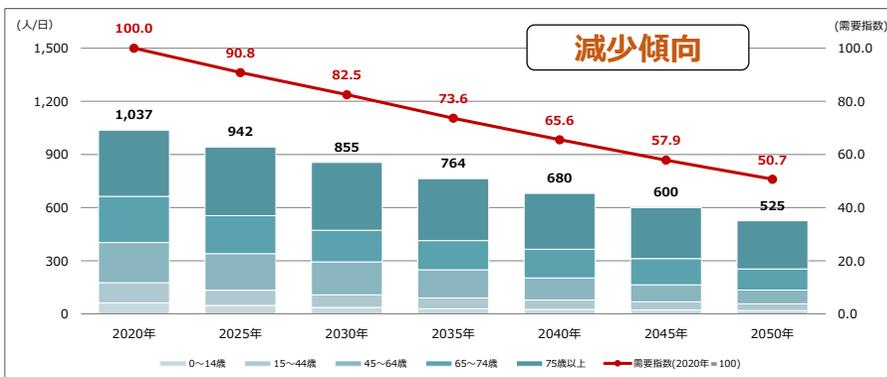
現在の外来機能と常勤医師配置状況   :常勤   :出張医など

|         |            |            |         |           |          |            |      |
|---------|------------|------------|---------|-----------|----------|------------|------|
| 内科 (3名) | 循環器内科 (1名) | 消化器内科 (5名) | 外科 (1名) | 整形外科 (2名) | 婦人科 (1名) | 麻酔科 (1名)   | 人工透析 |
| 小児科     | 眼科         | 皮膚科        | 泌尿器科    | 精神神経科     | 放射線科     | リハビリテーション科 |      |

### 当院の外来患者数推移



### 士別市の外来需要予測 (将来人口推計×受療率)



### 士別市内の医療機関の診療科目一覧

| 施設名               | 内科 | 呼吸器内科 | 循環器内科 | 消化器内科 | 気管食道科 | 外科 | 整形外科 | 婦人科 | 小児科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | 皮膚科 | 泌尿器科 | 放射線科 | 精神神経科 | リハビリテーション科 | アレルギー科 | 麻酔科 | 麻酔科 (ペインクリニック) |
|-------------------|----|-------|-------|-------|-------|----|------|-----|-----|----|-------|-----|------|------|-------|------------|--------|-----|----------------|
| 士別市立病院            | ●  |       | ●     | ●     |       | ●  | ●    | ●   | ●   | ●  |       | ●   | ●    | ●    | ●     | ●          | ●      | ●   | ●              |
| 士別市立上士別病院         | ●  |       |       |       |       | ●  |      |     | ●   |    |       | ●   |      |      |       |            |        |     | ●              |
| 吉田耳鼻咽喉科分院 ※休止中    |    |       |       |       | ●     |    |      |     |     |    | ●     |     |      |      |       |            |        |     |                |
| 船津医院              | ●  |       |       |       |       | ●  |      |     | ●   |    |       |     |      |      |       |            |        |     |                |
| 士別市立あさひクリニック      | ●  |       |       |       |       | ●  |      |     |     |    |       |     |      |      |       |            |        |     |                |
| しべつ耳鼻咽喉科あらかわクリニック |    |       |       |       |       |    |      |     |     |    | ●     |     |      |      |       |            |        |     | ●              |
| 士別市立多奇医院          | ●  |       |       |       |       | ●  |      |     | ●   |    |       | ●   |      |      |       |            |        |     | ●              |
| 道北クリニック           | ●  |       |       |       |       | ●  |      |     | ●   |    |       | ●   |      |      |       | ●          |        |     |                |
| しべつ整形外科クリニック      |    |       |       |       |       |    | ●    |     |     |    |       |     |      |      |       |            |        |     |                |
| しべつ内科クリニック        | ●  | ●     | ●     |       |       |    |      |     |     |    |       |     |      |      |       |            |        |     | ●              |
| 医療法人社団光翔会しべつ眼科    |    |       |       |       |       |    |      |     |     | ●  |       |     |      |      |       |            |        |     |                |
| 合計                | 7  | 1     | 2     | 1     | 1     | 6  | 2    | 1   | 5   | 2  | 2     | 4   | 1    | 1    | 1     | 2          | 3      | 1   | 1              |

【出典】厚生労働省「患者調査」(2023年)

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(2023年推計)

## 2. (2) 外来機能について（課題・方向性整理）

### 【協議事項】①今後も現在の外来機能（診療科目）が必要となるか

- ・ 市民アンケートでは、今後士別市に必要な機能として、「**外来機能の充実（かかりつけ医）**」が3番目に多い意見となっています。（57.5%、361件）
- ・ 診療科目の設定、専門分野にも対応できる体制整備においては、**医師の招へい実現の有無**が影響します。
- ・ 1人の医師が幅広い症例に対応できる「**総合診療科**」の整備という選択肢も、他院では検討されています。

#### 外来機能の検討におけるキーワード

今後士別市に必要な  
医療機能 第3位  
(市民アンケートより)

外来患者数

医師確保の難しさ

上川北部地域の  
医師確保政策  
(医師確保計画より)

**外来機能の充実**  
(かかりつけ医)  
(57.5%、361件)

今後**減少**予測

医師が都市部に集中し  
**地方では不足**している

医療圏として、  
現在の**医師数の維持**を  
目標としている

#### 前回の市民委員会のご意見

- ・ 休日や深夜に、専門医がおらず、他市の医療機関を受診するように言われた。
- ・ 救急搬送の際に、士別市立病院で適切な治療を受けられなかったことがある。
- ・ 脳梗塞の自覚症状があったが、適切な治療がなされず、他病院を受診し脳梗塞と診断された。

#### 考えられる対応策

- ・ 複数診療科の**専門医**の確保
- ・ 幅広い症例に対応できる**総合診療医**の確保

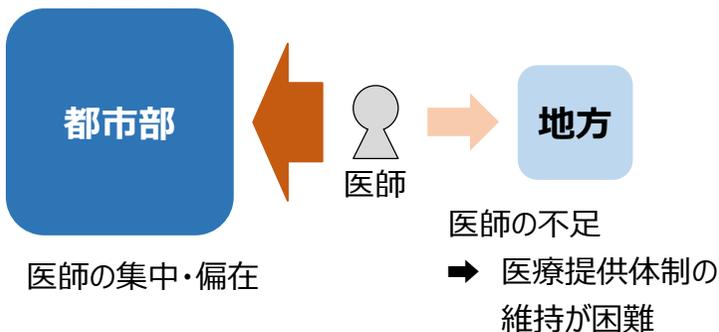
→ **しかし、全国的な課題として、医師の招へいは困難な状況にある。**

## 2. (2) 外来機能について（課題・方向性整理）

### 【協議事項】①今後も現在の外来機能（診療科目）が必要となるか

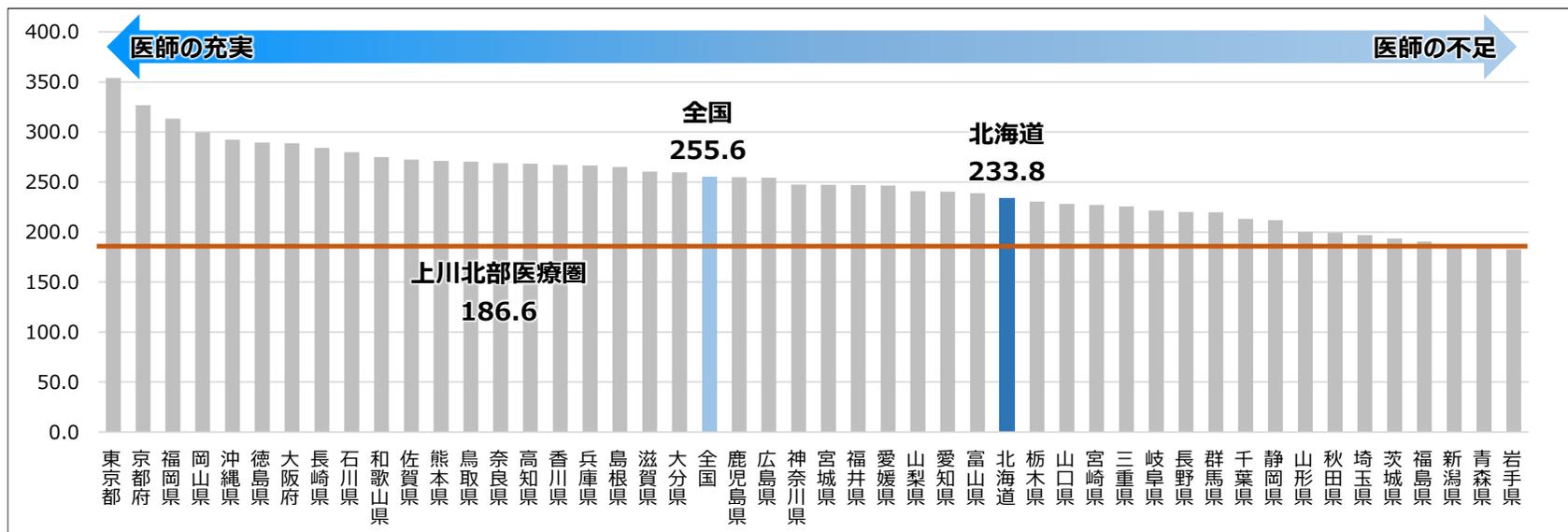
- 地方における医師不足の要因の1つとして、医師が都市部に集中し、地方で不足する「医師の偏在」が全国的な課題となっています。

#### 医師の偏在について



#### 医師偏在指標の分析

- 医師偏在指標とは、厚生労働省が提示する、全国ベースで医師の多寡を統一的・客観的に比較・評価する指標である。
- 従来の人口10万人当たりの医師数では反映が困難だった「医療需要」、「人口・人口構成とその変化」、「医師の性・年齢別分布」、「患者の流出入」、「地理的条件（へき地、離島など）」などの要素を考慮している。
- 全国平均の指標255.6に対し、北海道では233.8、上川北部医療圏では186.6で、ともに**全国平均を下回っている**。



## 2. (2) 外来機能について (課題・方向性整理)

【協議事項】①今後も現在の外来機能 (診療科目) が必要となるか

- 他施設では、オンライン形式での診療や救急対応などを実施することで、医師不足に対応している事例があります。

医師不足に対応している他施設の事例

### A) 5G遠隔診療 (徳島県)



糖尿病遠隔診療

内視鏡遠隔診断支援

#### 【概要】

徳島県立病院に「5G遠隔診療室」を設置し、糖尿病遠隔診療や内視鏡遠隔診断支援など、中央病院の専門医が遠隔で診療する「5G遠隔医療」を順次拡大

#### 【背景】

- 県の南部にある海部病院では、医師数の減少が課題
- また、県立中央病院との距離が離れており、出張医の派遣にも大きな負担がある

#### 【対応状況】

- 県立中央病院を中心に、海部病院の患者向けのオンライン診療を実施 (糖尿病遠隔診療、内視鏡遠隔診断支援など)
- ➔ 診療日が増加し、診療体制の充実が実現

### B) オンライン初期救急対応 (山口県防府市)

休日診療所 (内科) では、木曜日から日曜の夜間に“オンライン診療”を開設！スマートフォンなどを使って、ご自宅等から診療可能！薬は、当日、休日診療所でお渡し！

開設曜日 **木 金 土 日**

受付時間：18時45分～21時45分  
(診療時間：19時～22時)

～こんな症状起きてませんか～  
急な発熱・つらい風邪症状・皮膚がかゆい・軽い腹痛

①看護師へ電話相談  
看護師が症状をお伺いし、問診を行います。その後、ショートメッセージを通じてWEBブラウザで患者情報をご登録いただけます。  
※健康保険証をご準備ください。

②オンライン診療  
ビデオ通話を通して、医師の診療を受けていただけます。

③休日診療所で薬の受取/支払  
当日22時までに薬を受取り、現金でお支払いください。  
場所：防府市休日診療所 (觀生町12-1 保健センター隣)

#### 【概要】

夜間に自宅からでも診療を受けることができる内科のオンライン診療を開始。軽い腹痛や発熱など、気になる症状がある場合に、スマートフォンなどを使って、ビデオ通話で診療を受けることが可能。防府市内の医師に加え、県にゆかりのある医師がオンライン診療に携わる事例となっている。

#### 【背景】

- 医療機関数の減少、医師の高齢化により、救急体制の維持に課題がある

#### 【対応状況】

- 軽い腹痛や発熱など、気になる症状がある場合に、スマートフォンなどを使って、ビデオ通話で診療を受けられる
- 必要に応じ、休日診療所で薬の受取や支払を実施
- ➔ 夜間・時間外の一次救急対応体制の充実が実現

## 2. (2) 外来機能について（総合診療科の整理）

【協議事項】②将来的に、当院で総合診療科の設置・総合診療医の養成を目指すか

- 複数疾患を抱えた患者の増加や、地方における医師不足という課題に対し、総合的な診療能力を有し、幅広い領域の症例に対応可能な「**総合診療医**」の必要性が唱えられています。

### 総合診療科・総合診療医の概要

#### 総合的な診療能力の必要性

- 高齢化に伴い、特定の臓器や疾患を超えた多様な問題を抱える患者が増加。
- これらの患者には、複数の領域別専門医による診察よりも、一人の総合的な診療能力を有する医師による診察のほうが適切な場合がある。



#### 総合診療専門医を新たに位置づけ

##### 総合診療医：総合的な診療能力を有する医師

- ※ 日常的に頻度が高く、幅広い領域の疾病と傷害等について、適切な初期対応と必要に応じた継続医療を全人的に提供。

##### 総合診療専門医：総合診療医の専門医としての名称

- ※ 新たな専門医の一つとして基本領域に加える。
- ※ 「地域を診る医師」としての視点も重要。  
他の領域別専門医や他職種と連携して、多様な医療サービスを包括的かつ柔軟に提供することが期待される。

### 総合診療医について

#### 総合診療医の5つの特徴（一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会）

- 近接性** … 気軽に、なんでも相談できる
- 包括性** … 性別や年齢、健康問題の内容を問わず対応する
- 協調性** … 専門医や地域の施設、地域住民と連携・協調する
- 継続性** … ゆりかごから墓場まで、病気の時も健康な時も、ケアを提供する
- 責任性** … 患者との意思疎通、後進育成などに責任を持って実践する

総合診療医の必要性  
(厚生労働省「専門医のあり方に関する報告書」)

- 複数の疾患を抱える高齢患者への対応
- 日常的に頻度が高く、幅広い領域の疾病と傷害等に適切な初期対応と必要に応じた継続医療を提供



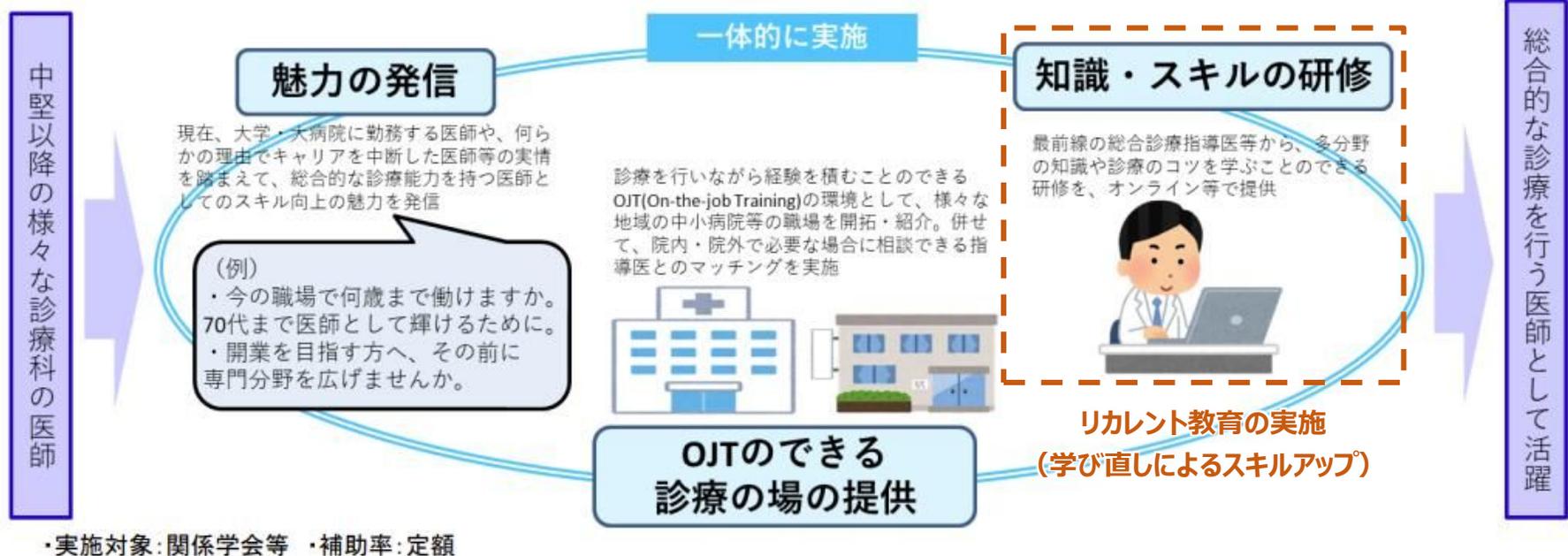
**総合診療科は、「幅広く診る力」と「深く診る力」を兼ね備えた専門科**

## 2. (2) 外来機能について（総合診療科の整理）

【協議事項】②将来的に、当院で総合診療科の設置・総合診療医の養成を目指すか

- 国においては現在、総合診療専門医の養成を目標として、ベテラン医師・シニア医師を対象に、総合診療能力の獲得支援を行う「リカレント教育」の実施に取り組んでいます。

総合的な診療能力を持つ医師養成の推進事業



⑤ 成果イメージ(経済効果、雇用の下支え・創出効果、波及プロセスを含む)

・中堅以降の様々な診療科の医師等に対しリカレント教育を実施することで、幅広い領域の疾患等を総合的に診ることができる医師の育成に寄与し、地域偏在と診療科偏在対策の更なる推進が見込まれる。

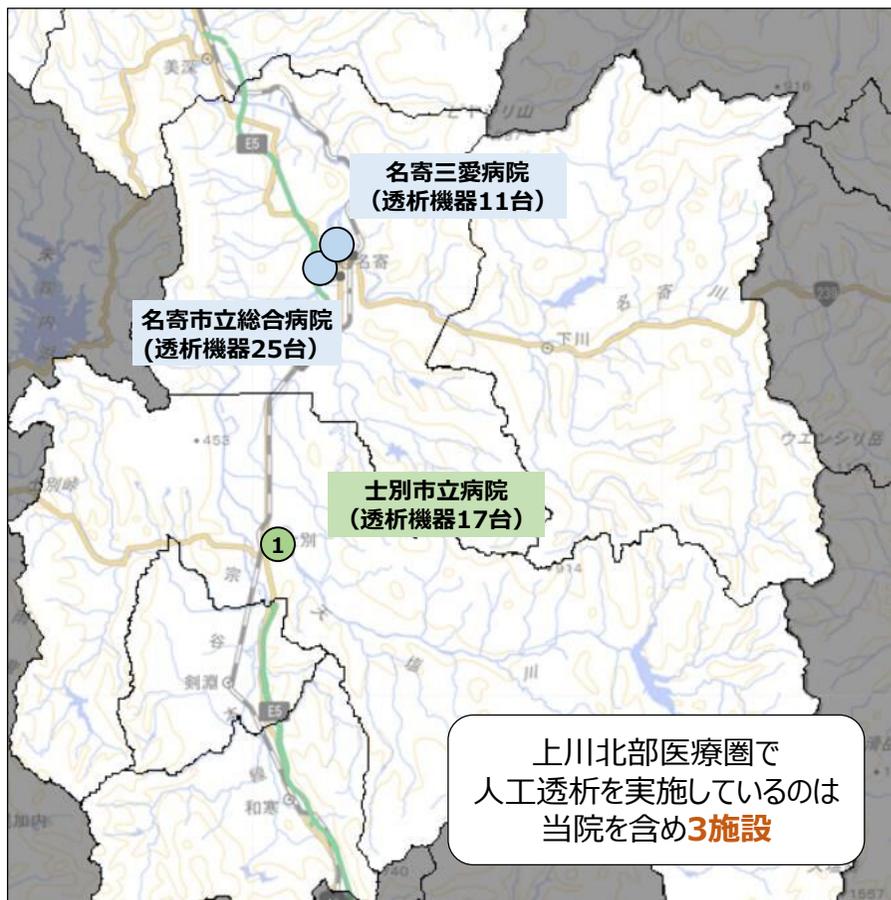
32

## 2. (2) 外来機能について（人工透析の整理）

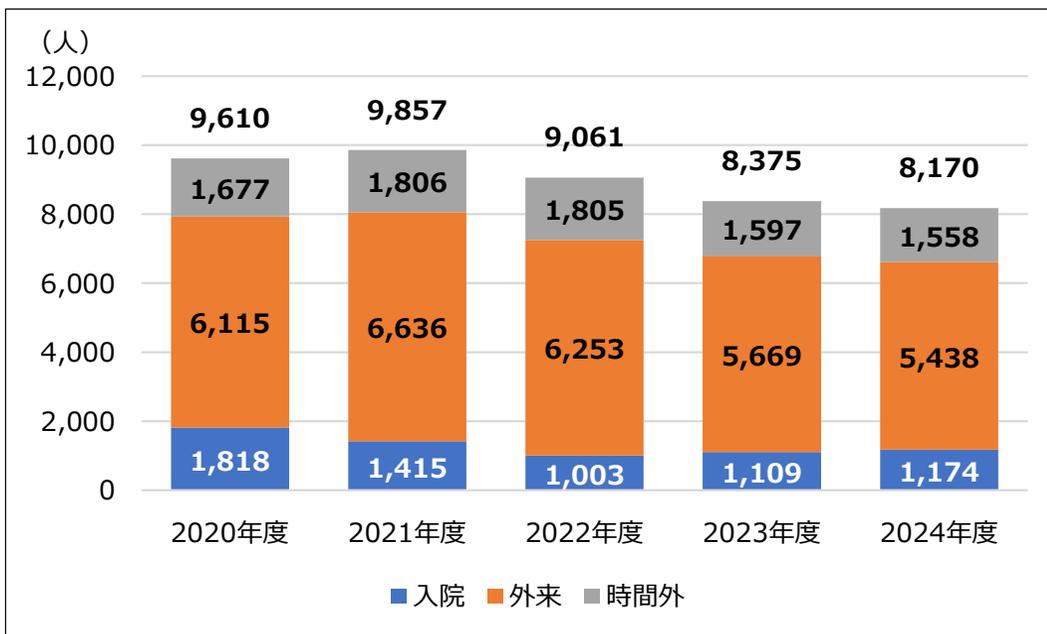
【協議事項】③今後も当院が人工透析機能を継続することが必要となるか

- 医療圏全体で人工透析を実施しているのは、**当院を含め3施設のみ**であり、土別市内では当院のみが対応している状況です。

### 人工透析の実施施設について



### 当院の人工透析実施状況（延べ患者数）



➡ 外来患者、入院患者の双方に人工透析を実施している

### 人工透析実施の検討におけるキーワード

継続的な人工透析の実施の必要性  
(患者の視点)

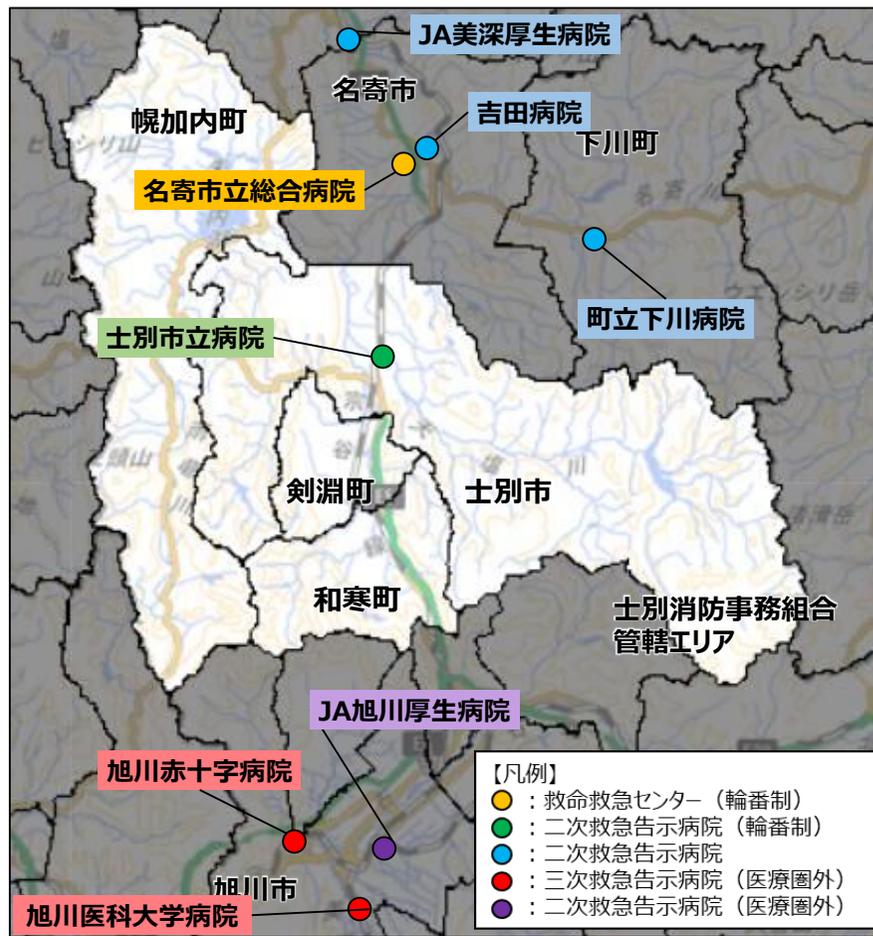
腎移植を行わないかぎり、  
生涯にわたって継続的な人工透析が必要

## 2. (3) 救急機能について (現状整理)

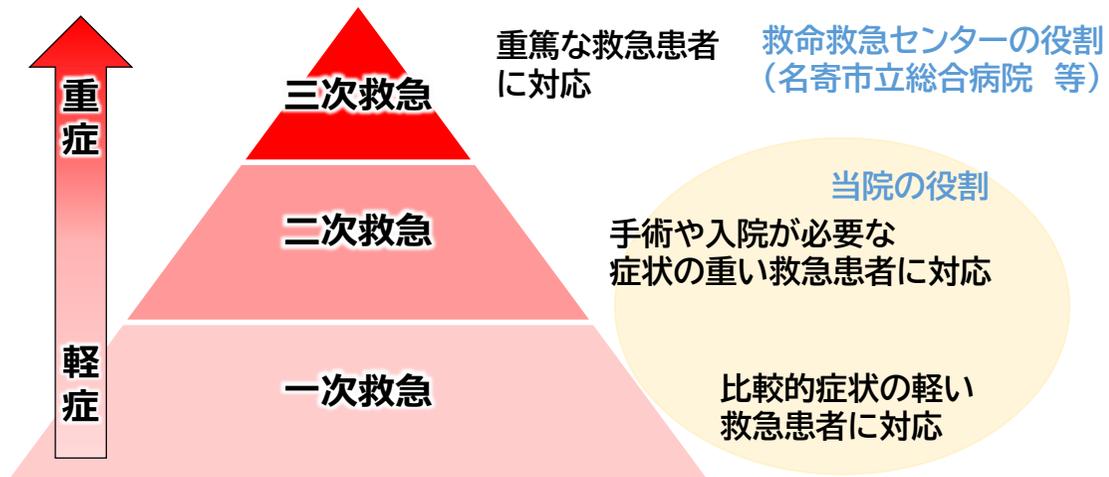
**【協議事項】** 今後も士別市内で、一次～二次救急の受入を担う医療機関が必要か

- ・ 当院では、士別市近隣地域の救急搬送の**83%**を受け入れています。(2024年度実績)
- ・ **名寄市立総合病院との連携体制**の中で、医療圏としての救急医療に対応しています。

周辺の救急告示病院の分布状況



救急機能区分の考え方



士別消防事務組合 傷病区分別搬送件数 (2024年)

| (件数) | 新生児 | 乳幼児 | 少年 | 成人  | 高齢者   | 合計    |     |
|------|-----|-----|----|-----|-------|-------|-----|
| 重症   |     |     |    | 1   | 27    | 238   | 266 |
| 中等症  |     | 11  | 8  | 91  | 500   | 610   |     |
| 軽症   |     | 7   | 13 | 124 | 349   | 493   |     |
| 合計   |     | 18  | 22 | 242 | 1,087 | 1,369 |     |

… 名寄市立総合病院などが対応  
 } 当院が主に対応

| (割合) | 新生児 | 乳幼児  | 少年   | 成人    | 高齢者   | 合計     |
|------|-----|------|------|-------|-------|--------|
| 重症   |     |      | 0.1% | 2.0%  | 17.4% | 19.4%  |
| 中等症  |     | 0.8% | 0.6% | 6.6%  | 36.5% | 44.6%  |
| 軽症   |     | 0.5% | 0.9% | 9.1%  | 25.5% | 36.0%  |
| 合計   |     | 1.3% | 1.6% | 17.7% | 79.4% | 100.0% |

## 2. (3) 救急機能について（課題・方向性整理）

**【協議事項】**今後も土別市内で、一次～二次救急の受入を担う医療機関が必要か

- 人口減少の側面もありますが、高齢化による高齢者救急の需要が高まっています。
- 当院が二次救急受け入れを止めた場合、より重症な患者対応を担っている**名寄市立総合病院の負担が大きくなる**こと、救急搬送距離が増えることによる**救急隊の負担・コスト増加等のリスク**が危惧されます。

### 高齢者救急の主な症例とその特徴

転倒などによる怪我  
(打撲、骨折など)

呼吸器系疾患  
(肺炎など)

消化器系疾患  
(腹痛、下痢など)

その他高度な症例  
(脳疾患、心疾患など)

### 当院が二次救急受入を止めた場合に想定されるリスク

#### 救命率低下のリスク

- 当院で受入れていた二次救急患者が、名寄市立総合病院などより重症患者に対応している病院に搬送されることになる。
- 救急隊の病院までの搬送時間が長くなる。
- 救急隊の増員、救急車両の増台が必要になる。

#### 重篤、重症患者への対応が困難となるリスク

- 名寄市立総合病院に重症度を問わず救急患者が集中することで、本来担うべき重篤、重症患者に十分なリソースを割けなくなり、対応が困難になる可能性が生じる。
- 現状の救急隊数では、1件あたりの搬送時間が長くなるため、迅速な対応が困難になり、救命率が低下する可能性がある。
- 救命率の低下リスクを回避するためには、救急隊の増員や救急車両の増台など、コストが発生する。

## 2. (4) 感染症対応機能について

**【協議事項】**今後も士別市内で、感染症対応機能を担う医療機関が必要か

- 当院は、公立病院として、新型コロナウイルス感染症対応に積極的に対応してきました。
- 総務省のガイドラインにおいても、「**公立病院は感染症医療において中心的な役割を担う必要がある**」とされています。

### 新型コロナウイルス感染症感染拡大期における公立病院の役割

- 公立病院は**感染症医療において中心的な役割**を担う必要がある（総務省「公立病院経営強化ガイドライン」）
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大時には、公立病院が病床確保、発熱外来など**積極的に対応し、重要性が再評価**された

### 上川北部医療圏の病院が新興・再興感染症発生時に果たす役割(感染症法に基づく医療措置協定より)

| No. | 施設名      | 市町村 | 公立 | 新興・再興感染症発生時の対応 |      |              |      |      |
|-----|----------|-----|----|----------------|------|--------------|------|------|
|     |          |     |    | 病床確保           | 発熱外来 | 自宅療養者等への医療提供 | 後方支援 | 人材派遣 |
| 1   | 士別市立病院   | 士別市 | ◎  | ○              | ○    |              | ○    | ○    |
| 2   | 名寄市立総合病院 | 名寄市 | ◎  | ○              | ○    |              |      | ○    |
| 3   | 吉田病院     | 名寄市 |    | ○              | ○    | ○            | ○    |      |
| 4   | 名寄三愛病院   | 名寄市 |    |                | ○    | ○            |      |      |
| 5   | 名寄東病院    | 名寄市 | ◎  |                | ○    |              |      |      |
| 6   | JA美深厚生病院 | 美深町 |    | ○              | ○    |              | ○    |      |
| 7   | 町立下川病院   | 下川町 | ◎  | ○              | ○    | ○            | ○    |      |

➡各病院が北海道と医療措置協定を結び、進行・再興感染症の発生時には病床確保、発熱外来など対応する予定